

第10回山形市中心市街地活性化戦略本部会議議事録

1 開催日時 平成30年10月19日（金）午後1時45分～2時45分

2 会場 山形商工会議所 5階 502会議室

3 出席者

(1) 本部員7名

山形市長		佐藤 孝弘
山形商工会議所	会頭	清野 伸昭
山形市中心商店街まちづくり協議会	会長	船山 隆幸
山形市観光協会	会長	平井 康博
山形青年会議所	理事長	近藤 英雄
山形大学	教授	山田 浩久
城下町やまがた探険隊	代表	新関 芳則

(2) 山形市中心市街地活性化戦略推進コーディネーター

まちづくりプラン研究所	代表	牧 昭市
-------------	----	------

(3) 事務局14名

商工観光部長、山形ブランド推進課長、都市政策課長、
山形ブランド推進課課長補佐、街なか・商業グループ員（3名）、
山形銀行派遣職員、山形商工会議所（5名）、
山形市中心市街地街づくり協議会幹事

(4) 調査実施機関2名

(株)山形街づくりサポートセンター社長、山形市中心市街地活性化事業部長

4 傍聴者

一般傍聴者：1名、 記者：5名

5 内容

(1) 報告

・平成30年度事業の進捗状況について

(2) 協議

・山形市中心市街地グランドデザイン（素案）について

6 資料の名称

資料1 平成30年度事業の進捗状況について

資料2 山形市中心市街地グランドデザイン（素案）

7 議事録

(1) 開 会 (山形ブランド推進課長)

(2) 山形市長あいさつ

(3) 議事録署名人の指名 (本部長)

清野 伸昭 本部員

船山 隆幸 本部員

(4) 報 告 (内容は以下のとおり)

<山形市中心市街地活性化プロジェクト本部より報告>

・平成30年度事業の進捗状況について

(5) 協 議

事 務 局	資料について説明。 (約8分)
本 部 員	街づくり協議会の構成員からランドデザインに関して意見を聞いた。様々な意見はあったが、私個人としては、ランドデザインは目指すべき方向性であって、詳細に関してはこれから積み上げて形成していかなければいけないものだと思うので、方向性としてはよろしいのではないかと思います。
本 部 員	大きいコンセプトを立てて、「商業・観光・暮らし・医療・文化の融合」とあるのはきれいだと思うが、その後のテーマ1から6と言葉が対応しているともっときれいなのではないかと。テーマ3の「ビジネス環境の向上と企業誘致・創業支援」を何と表現するか。テーマが6つなので、融合の文言ももう一つ入れた方がコンセプトとテーマが整合するのではないかと。
座 長	せっかく対応しているので加えた方がいい。商業もビジネスだが、テーマ3の内容はそれ以外のオフィスや創業なので、この5点にもう一つ加えるとするとはビジネスや事業か。私はビジネスという感じがフィットするような気がする。 ここにビジネスという言葉を加えるということによいか。
本部員一同	同意。
本 部 員	順番も合わせて並べ替えた方が良い。
座 長	テーマに合わせて順番も直すこととする。

本 部 員 このコンセプトの上に市民全員が納得するようなキャッチフレーズ的な要素のキーワードがあるといいと思う。このコンセプトには、オリジナル山形の言葉がない。

座 長 グランドデザインのコンセプトなので、ある程度グランドデザインの趣旨を明確に表していないとだめだということで、この形に落ち着いている。その上に本当に一言で言えるものがあれば、これからのPRの中で使っていけるかもしれないが、そうするとコンセプトの内容が反映されないということになるため、引き続きの課題として考えさせていただきたい。

コ ー デ ィ
ネ ー タ ー 一番上に『クリエイティブシティ山形』と書いて、下に『次世代へつなぐ魅力ある新しい「中心市街地」の創造』というところで、それぞれのテーマが並んでいると、見栄えも格好も、今の提案も入ってくると思うが、そんなところで事務局で検討していただけたらどうか。

座 長 対外的に示すときの、内容よりもどう訴えていくかという議論。山形市中心市街地グランドデザイン（素案）というのがあり、このコンセプトで「次世代につなぐ…」というのがある。その間にまた一言入れるかどうか。
大きな内容についてはもう合意がなっていると思うが、見せ方の問題。

本 部 員 山形市の中心市街地グランドデザインというテーマで出ているため、あえてそこまでいらない感じがする。
また、グランドデザインは中心市街地活性化基本計画に基づいてゾーニングの範囲を決めて組み立てたが、それが概要の中に記載されていない。グランドデザインには基本計画で定める範囲の西側や寺町の方が入っているが、それを示す部分が記載されていないので、コンセプトの中に入れるか、方向性の中に総合的な考え方として入れるべきではないか。今回のグランドデザインの概要は、そこまで広げて考えており、しかも中活は短期的、グランドデザインは中長期的な考え方だということを示す必要があるのではないか。

座 長 2 ページに基本計画における「中心市街地」エリアが赤線で書かれているが、寺町などは当該エリアには含まれていないため、グランドデザインでは当該エリアを中心としながら、その

周辺も含むことを2ページの説明で入れておいた方が良いか。

本 部 員 それとも28ページのグランドデザインの概要のところ、別項目で基本的な考え方としてコンセプトの次あたりに入れるか。

コンセプトについてはこれでいいと思う。ただ、細かいことだが「次世代」というより「次代」のほうがいいのではないか。

本 部 員 コンセプトはこのままでよろしいのではないか。次代は確かに時代を超えて次につながるということだが、やはりここに住んでいる人たちに、この山形というものをどう持っていくのかということなので、次世代の方が私としてはピンとくる。

キャッチフレーズは別のものではないかと思うので、このまま素直に読ませていただいた方がよろしいのではないか。

本 部 員 コンセプトはこのままでよろしいかなと思っている。クリエイティブシティとつけてしまうと、長くなり、サブタイトルもどっちになってしまうのかということもある。また、次世代の表現もこのままでよろしいかと思う。

座 長 次代、次世代については、多数決のような感じになってしまったが、次世代のままでよいか。

本 部 員 これをパンフレット等市民にPRするときに、コンセプトではなくパンフレットの絵面としてキャッチフレーズ的な言葉が入ってくるのかなと思う。

座 長 市民へのPR等の発信に際して、何かあり得るかなとは思う。案が必要なので、ぜひ今後いろんな形でご提案いただければ。

コンセプトとしては、『次世代へつなぐ魅力ある新しい「中心市街地」の創造』とサブタイトルを、『商業・暮らし・ビジネス・観光・医療・文化の融合』と直後に出てくるテーマに合わせて順番を並べるということで皆さんよろしいか。

本部員一同 同意。

座 長 次に、エリアに関する説明を、28ページの各テーマがくる前に書き加えた方がよいのではないかということだが、その次とのつながりを考えるとそれでもよろしいのかなと思う。

本 部 員 「中心市街地とは」ということで付け加えるということか。

座 長 グランドデザインが捉える範囲というような内容を加えるということ。

本 部 員 グランドデザインの概要の前の部分で中心市街地活性化基本計画における中心市街地エリアの説明をしている。次にグランドデザインとして考える方向性として駅西も寺町も入れるという、その範囲を方向性の中に、テーマごとの前に書き加えてはどうか。しかも中長期的な考えということ。

座 長 そこはそれでよろしいかと思うが、それを考えると 2 ページの部分も少し書かないといけない。28 ページとの整合性で、説明を合わせて書いていくような形にさせていただきたいと思うが、そのような対応でよろしいか。

本部員一同 同意。

座 長 次に、59 ページ以降の体制の話だが、前回と違うところとして、戦略本部とプロジェクト本部が一体不可分であるということがわかる図になっていることと、中活の方との情報交換・意見交換を実施することで整合性を取っていこうということ。このような形でよろしいか。

本部員一同 同意。

座 長 その他、全体の中で意見があればお願いしたい。

本 部 員 県との関わりのあり方について、素案の中では34 ページに、「各主体が連携してより良い県都づくりを目指していくことが重要です」とある。一方的にパブリックコメントで出すだけでなく、県の方にも内容を市から提案し、回答までではなくても、無関係なところで動いていると思われないう、もう少し県と連絡を密にとっていただきたい。

座 長 この素案についても県には事前に出している。グランドデザインができて、実際の物事を進めるにあたっては、連携は不可欠なので、連携を密にしながら進めていきたいと思っている。

本 部 員 これまでも県に文書を出して、その都度修正箇所を修正しているということなので、戦略本部の総意をもって県に要請があ

れば出ていただきたいという旨を強く要望していただきたい。

座長 そのようなご意見もあったということも含めてお伝えしていきたい。

本 部 員 35 ページ、36 ページのゾーニングのところだが、戦略的計画ゾーンの6つ目の「戦略的景観構築ブロック」というのは、ここだけブロックでいいのか。

戦略的計画ゾーンで、戦略的景観構築ブロックと呼び名が違って、形も確かにゾーンというよりはブロックだが、ここは、こういう具体的な街路整備事業や地区計画などはここには出さずに、方向性とか戦略的な部分を示す箇所かと思う。どうしてブロックという名前でいくつかのゾーンに被さるような形で載っているのか。

事 務 局 ここだけ具体的に御殿堰を指しており、ゾーンをまたいでいるのでブロックという形で表現しているものである。

座長 他のゾーンに被る部分があるため、ゾーンの中のゾーンという変だということで名称がブロックになっているということか。ゾーンでも構わないと思うが。

本 部 員 ここだけ具体的な部分であり、御殿堰の修復エリアということで決まっている計画ブロックであれば、ゾーニングの場所にあって入れるものなのか。

座長 今までの御殿堰をめぐる動きから、行政で一元的にできるものではなく、かなり民間の方からご協力いただかなくてはいけない部分もある。行政だけでの整備が難しいので、一気に計画的に全て進めるということではなく、御殿堰沿いの中で各主体がそれぞれいろんな形で、御殿堰沿いの一つの魅力ある道をつくるということを順次やっていくということだと思っている。表現の問題だと思うが、行政計画的な場所とまでは言えないため、こうなっていると思う。ブロックでふさわしくなければゾーンでも構わないと思う。

本 部 員 住民の方の協力を得るために、このようなプロモーションが必要だとすれば必要なのかとも思うが、その後の37、38ページに続く説明文のところだと、またこのブロックの説明だけ抜けているので、入れるのであればこういう文章も入ってくるのではないか。

座 長 別のところに御殿堰について触れている部分も出てくるが、ここに書いてある以上は、この後に説明書きがなされて然るべきだと思うので、書き加える方向で検討させていただく。

コーディネーター 以前、市民アンケートで御殿堰の位置づけがかなり高い状況である結果が回収された。中活事業の目玉事業の一つとして御殿堰開発が現状の御殿堰の環境を含めた事業展開を行い、これを長期的に、霞城公園側から七日町への景観動線と歩行動線も含めて作っていくという方向の中で、ランドデザインの素案にブロックという形で記載した。

各テーマのところに具体的な記載がない代わりに 53 ページの「今後推進・検討すべき事業」の中に「御殿堰の再生による回遊性の拡張」とある。一人の民地で事業が進むのであれば、テーマのところに書き加えることもできるが、複数の地権者の方々と経費を含めた話し合いをし、年数を要する事業になると予想されることから、「今後推進・検討すべき事業」に書いてある。ゾーニングの中に、ブロックがあることが市民に対してのアピールの部分。御殿堰を活かしたまちづくりをやっていくことを理解していただくということもあり、ゾーニング計画の中にブロックという表示で入れる提案をさせていただいた。

座 長 市民の皆さんにお伝えするという意味では、あった方がいいと思うので、36 ページの図に残したうえで、その後の説明にこの部分も加えていきたい。

本 部 員 第 3 章「ランドデザインの具現化に向け推進していく戦略プロジェクト」に関して、今までは客観的だったのが、「～していきます」という主体的な表現になった。街なかに住む我々商業者も民間投資を行う一員なので、投資マインドを刺激する表現に変わってきた部分は評価したいと思う。そのうえで、明るい未来を思い浮かべられるような表現を求める要望も多いので、よろしくをお願いします。

座 長 これから何を指すか、動かしていくかというところは、より明確にできるところはしていくということで、他の部分についても考えていきたい。

コーディネーター 53 ページ一番上段「すずらん商店街における老朽建物の整備改善の促進」の 2 行目に「検討委員会の設立に向けた検討が進められています」とあるが、昨晚検討委員会が設立された。

11月の戦略本部会議までに間に合えば、将来像のパーズをここに差し込み、見た方に対して、すずらん商店街が考えている方向性をよりわかりやすく示すことができると考えている。

座長 次回までの間に進んだところまで、なるべくぎりぎりまで反映させるよう、ぜひパーズはあるとすばらしいと思うので、よろしくお願いします。

細かい部分については、ご指摘いただければ事務局で検討させていただきたいと思うので、よろしくお願いいたします。

本日いただいたご意見で確定したものは修正をして、そうでないものは協議をし、事務局で検討し、また皆様にもご相談させていただくところはさせていただきたい。次回会議ではランドデザインの素案をほぼ完成版として提示できるよう、さらに整理していきたい。

(6) 閉会 (山形ブランド推進課長)